

出題のポイント

〔第一問〕

問1

本問は、包括利益の測定と表示について、当期純利益とその他の包括利益に含まれる内訳項目との関連性やクリーンサープラス関係、リサイクルの根拠及び背景に関する理解を問うものである。

〔第二問〕

問1

本問は、財務諸表の構成要素（主として資産・負債の定義）と利益観（資産負債観）に関する基礎的理解を問うものである。また、リース取引の資産化に関する基礎的な考え方を理解しているかどうかについても問うている。

問2

本問は、有形固定資産の除去に要する支出にかかる会計処理に関する基礎的理解を問うものである。具体的には、減価償却方式、引当金方式および資産負債両建処理の基礎的な考え方を理解しているかどうかを問うている。

〔第三問〕

本問は、会社法及び会社計算規則の基本的な理解度を広範囲に問うものである。資料を正確に読み取って、貸借対照表、損益計算書、販売費及び一般管理費の明細、製造原価明細書及び売上原価明細書を適切に作成できるかを問うている。

- (1) 総勘定元帳（現金）から期間帰属の理解を問う。
- (2) 預金について基本的な組み替え事項に関する理解を問う。外貨建て取引について理解を問う。
- (3) 売上の計上に関する理解を問う。
- (4) 金銭債権について、「金融商品に関する会計基準」における債権区分の考え方と貸倒引当金の会計処理に関する理解を問う。
- (5) 有価証券について、「金融商品に関する会計基準」における有価証券の評価方法等に関する理解を問う。
- (6) 棚卸資産について、「棚卸資産の評価に関する会計基準」における棚卸資産の評価基準及び評価方法に関する理解を問う。また、帳簿棚卸高と実地棚卸高の差異についての会計処理の理解を問う。
- (7) 有形固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に関する理解を問う。
- (8) リース取引について、「リース取引に関する会計基準」に関する理解を問う。
- (9) 外貨建債務について、「外貨建取引等会計基準」に関する理解を問う。
- (10) 従業員賞与について、その処理と表示に関する理解を問う。
- (11) 引当金について、「企業会計原則注解」及び「財務諸表等規則」に準拠した理解を問う。
- (12) のれんについて、「企業結合に関する会計基準」に関する理解を問う。
- (13) 「ストックオプション等に関する会計基準」に関する理解を問う。
- (14) 諸税金の処理について、納付税額の処理方法の理解を問う。
- (15) 税効果会計について、「税効果会計に係る会計基準」における繰延税金資産の会計処理と表示に関する理解を問う。